

公立大学法人宮崎公立大学
令和2年度業務実績に関する評価結果

令和3年8月

宮崎市公立大学法人評価委員会

目次

1 評価方法	…	2
2 全体評価	…	5
3 項目別評価	…	8
(1) 教育に関する目標	…	8
(2) 研究に関する目標	…	11
(3) 地域貢献に関する目標	…	12
(4) 国際化に関する目標	…	13
(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標	…	14
(6) 財務内容の改善に関する目標	…	16
(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標	…	18
(8) 大学改革に関する目標	…	19

1 評価方法

宮崎市公立大学法人評価委員会は、公立大学法人宮崎公立大学（以下、「公立大学法人」という。）が作成した業務実績報告書を基に、法人の意見を聴取し、下記のとおり評価を行った。

(1) 評価の構成

「項目別評価」と「全体評価」による。

(2) 項目別評価の方法

中期目標に掲げる8つの大項目ごとに、以下の5段階により、実施状況を評価する。なお、特筆すべき点や遅れている点については、取組の概要を記述する。

(中期目標に掲げる8つの大項目)

- ①教育に関する目標
- ②研究に関する目標
- ③地域貢献に関する目標
- ④国際化に関する目標
- ⑤業務運営の改善及び効率化に関する目標
- ⑥財務内容の改善に関する目標
- ⑦自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標
- ⑧大学改革に関する目標

(評価基準)

評価	判断の目安
S 中期計画の進捗は優れて順調	・「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が4.3以上であり、かつ、顕著な実績や特に優れた成果があると評価委員会が認める場合
A 中期計画の進捗は順調	・「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「A」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「A」評価相当と認める場合
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	・「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「B」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「B」評価相当と認める場合
C 中期計画の進捗はやや遅れている	・「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「C」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「C」評価相当と認める場合
D 中期計画の進捗は著しく遅れている	・「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が1.8以下である場合

(個別記載事項ごとの評価)

項目ごとの評価を実施するため、年度計画の個別記載事項ごとに、以下の5段階の達成度により評価し、中期計画の個別記載事項ごとにあらかじめ設定された難易度・重要度から評点を算出する。なお、個別記載事項に複数の取組や事業（定量的指標を含む）が位置付けられている場合には、取組や事業毎に評価を行い、平均値を当該個別記載事項ごとの達成度とする。

達成度	判断の目安
V 年度計画を予定よりはるかに上回って実施している	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画における所期の目標を上回る顕著な実績や特に優れた成果が得られている 定量的指標においては達成度が目標値の120%以上
IV 年度計画を予定より上回って実施している	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画における所期の目標を上回る実績や成果が得られている 定量的指標においては達成度が目標値の110%以上120%未満
III 年度計画を予定どおり実施している【標準】	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画における所期の目標を達成している 定量的指標においては達成度が目標値の90%以上110%未満
II 年度計画の実施状況が予定を下回っている	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画における所期の目標を下回っており、改善を要する 定量的指標においては達成度が目標値の60%以上90%未満
I 年度計画の実施状況が予定を著しく下回っている	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画における所期の目標を下回っており、抜本的な改善を要する 定量的指標においては達成度が目標値の60%未満

なお、令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取組や事業のうち、公立大学法人として、代替案を検討または実施することが著しく困難であったと認めるものに限り、評価を実施しない。

(評点の算出方法)

達成度	I	II	III	IV	V
難易度・重要度	年度計画の実施状況が予定を著しく下回っている	年度計画の実施状況が予定を下回っている	年度計画を予定どおり実施している【標準】	年度計画を予定より上回って実施している	年度計画を予定よりはるかに上回って実施している
D 1	3	3	4	5	5
D 2	2	3	4	4	5
D 3	1	2	3	3	4

(難易度・重要度の考え方と第三期中期計画における設定)

難易度 ・重要度	定義	第三期中期計画における設定
D 1	設立団体である市の重要施策と関連する取組や国の施策・動向に関連する取組	[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進 [7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上
D 2	公立大学法人並びに大学の業務遂行及び管理運営の改革・改善に資する取組	[3] 他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動 [4] 地域での体験学習や学外学習活動 [17] 地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開 [26] 優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施
D 3	公立大学法人並びに大学の業務遂行に係る一般的な取組	上記以外

(3) 全体評価

「項目別評価」の結果を踏まえ、公立大学法人の業務全体の実績評価について、記述式により、年度計画を総括する。特に、地域の高等教育機関としてさらに発展するために、大学の特色ある取組やさまざまな工夫について積極的に評価し、記述するとともに、必要に応じて組織や業務の課題、改善点等も記述する。

2 全体評価

公立大学法人宮崎公立大学は、平成19年度の公立大学法人化以降、主体的・自律的な大学運営に努めている。

令和2年度は、公立大学法人の設立者である宮崎市が平成30年9月に定め、公立大学法人へ指示を行った第三期中期目標（目標期間：平成31年4月1日から令和7年3月31日まで）の達成に向けて、56項目の計画に取り組んだ。

評価委員会において、公立大学法人の作成した業務実績報告書を基に、公立大学法人の意見を聴取しながら、各計画の業務実績について評価を行った結果、後述のとおり中期目標に掲げる8つの項目中、1つの項目で中期計画の進捗は順調、7つの項目で中期計画の進捗は概ね順調であると判断した。

このことから、令和2年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体として概ね順調に進捗していると評価する。

なお、令和2年度の業務実績のうち特色や工夫ある大学の取組として、以下を確認したところであり、今後も地域の高等教育機関として更なる発展に取り組まれない。

・計画番号 ⑤ア

令和2年度後期より、主に1年生を対象としたキャリア関連科目として「労働・雇用リテラシー」を、日本労働組合総連合会宮崎県連合会（連合宮崎）の寄附講座として開設、実施した。

⇒ この講座の実施にあたっては、知事や企業家、弁護士、金融機関など多彩な講師を招いており、実学という観点から高く評価するものである。

・計画番号 ⑥ア

令和3年度前期開講を決定した「基幹演習C」（地域の課題解決に主体的に取り組むことのできる実践力と創造的な問題解決能力を身に付けるために、地域での体験学習や学外学習活動を授業に組み込んだ科目）の実施に向けて準備を行った。具体的には、科目コーディネーター及び教務部会の教員が、学生たちが導出した地域の課題や提案についての情報を収集し、関連する県内企業や地方公共団体の担当部署からの情報収集を行ったほか、協力や支援を依頼するなどの交渉・調整を行った。

・計画番号 ⑪イ

宮崎県内就職希望者と県内企業との接点を増やすため、セミナー等を開催した。

令和2年度の新規事業として、オンラインで「教えて！〇〇センパイ」を実施した。また、4年生を対象とした「学内会社・自治体説明会」の参加者からは、1名の就職が決定した。

⇒ 「教えて！〇〇センパイ」、「業界研究セミナー」は好企画であり、さらなる参加者増を望む。また、県外出身者の県内就職率の向上にも期待する。

- ・計画番号 ②④イ
 地域の課題・ニーズと大学の人的・知的資源とのマッチング及びコーディネートを行うための特任教員の配置を決定した。
- ・計画番号 ③①ア
 外部の理事及び委員が参画する役員会や経営審議会、教育研究審議会を適切に開催した。また、大学初のCM制作や新たに公式SNSの運用開始に取り組んだほか、「教学マネジメント専門委員会」を設置し、次期認証評価に向けた取組も開始した。
- ・計画番号 ③⑤ア
 他大学での事例調査を踏まえ、実務に精通し、且つ地元就職対策を目的とした教員を確保するため、宮崎公立大学特任教員規程を制定し、2名の特任教員を採用することを決定した。
- ・計画番号 ③⑦イ
 年度当初、学務課長を班長として、予算執行に直接的に携わることのない職員による内部監査班を設置した。令和3年2月以降に監査対象を決定し、内部監査を実施した後、監査報告を行った。その後、年度末までに、担当課から改善策の報告を受けた。
- ・計画番号 ④⑧ア
 「一般財団法人こゆ地域づくり推進機構」や「日本労働組合総連合会宮崎県連合会（連合宮崎）」の寄附講座を実施したほか、令和3年度実施分として、「街市実行委員会」や「一般社団法人生命保険協会」の寄附講座を行うことを決定した。
 ⇒ 経済団体や士業団体は社会貢献に前向きであることから、それら団体との連携を深めることによる、寄附講座の更なる充実を期待する。
- ・計画番号 52ア
 改革推進会議を中心に、各担当部局が所管する年度計画のヒアリングを年2回実施し、組織的な進捗管理を行った。
 進捗及び実績報告の入力にあたっては、令和元年度業務実績報告に対する評価委員会からの指摘事項等を参考としたほか、業務実績に簡易的な表を挿入することで、読み手側の読みやすさを考慮した。

一方で、業務実績報告について、次のとおり課題を確認したため、改善をされたい。

- ・業務実績報告書において、業務の実施状況のみが記述されている報告が散見されるが、実施状況のみならず、得られた成果についても十分に検証し明記されたい。

さらに、令和2年度は1年を通じて新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大学運営に苦慮されたものと拝察するが、そのような中での年度計画の作成や取組の実施について、以下の意見を参考とされたい。

- ・年度計画作成の段階において、新型コロナウイルス感染症などの外的要因により、例年同様の取組が困難であることが見込まれる場合は、そのような中において、いかにすれば中期目標を達成できるかという視点から、その状況に対応した計画を作成するなど工夫されたい。
- ・新型コロナウイルス感染症により社会情勢が大きく変化中、高大接続に係る積極的な取組や、学生の卒業後のキャリアの多様化に応じた支援の充実など、ポストコロナを見据えた年度計画の作成について、工夫を期待したい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、多くの取組が制限される状況にあるが、この状況下での努力や工夫が、ポストコロナにおける業務の合理化や改善に繋がるとの観点からも、積極的な代替案の検討、実施に努められたい。

3 項目別評価

<評価結果の概要>	S	A	B	C	D
(1) 教育に関する目標		○			
(2) 研究に関する目標			○		
(3) 地域貢献に関する目標			○		
(4) 国際化に関する目標			○		
(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標			○		
(6) 財務内容の改善に関する目標			○		
(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標			○		
(8) 大学改革に関する目標			○		

(1) 教育に関する目標

評価	判断理由
A 中期計画の進捗は順調	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が3.5以上4.2以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[1]教養教育における「国際文化学」の体系化（10頁）	①ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	①イ	Ⅲ			
[2]外国語によるコミュニケーション能力の育成（11頁）	②ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②イ	Ⅲ			
[2]外国語によるコミュニケーション能力の育成（12頁）	③ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[3]他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動（13頁）	④ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	④イ	Ⅱ			
[3]他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動（13頁）	⑤ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
[4]地域での体験学習や学外学習活動（14頁）	⑥ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	⑥イ	Ⅲ			
[5]教員の教育能力の向上と教育の質の改善・向上（15頁）	⑦ア	Ⅲ	Ⅳ	D 3	3
	⑦イ	Ⅳ			
	⑦ウ	Ⅳ			
[6]優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進（18頁）	⑧ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
[6]優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進（18頁）	⑨ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4

[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進 (18 頁)	⑩ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上 (19 頁)	⑪ア	Ⅲ	Ⅳ	D 1	5
	⑪イ	Ⅳ			
[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上 (23 頁)	⑫ア	Ⅳ	Ⅳ	D 1	5
[8] 教職に関する学生の資質向上 (25 頁)	⑬ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	⑬イ	Ⅲ			
[9] 教職関連の就職を目指す学生の就職支援 (26 頁)	⑭ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	⑭イ	Ⅲ			
[9] 教職関連の就職を目指す学生の就職支援 (27 頁)	⑮ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	⑮イ	Ⅲ			
[9] 教職関連の就職を目指す学生の就職支援 (27 頁)	⑯ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	⑯イ	Ⅲ			
[10] 心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援 (29 頁)	⑰ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	⑰イ	Ⅲ			
[11] 経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型奨学金」への対応 (32 頁)	⑱ア	Ⅲ	Ⅳ	D 3	3
	⑱イ	Ⅳ			
[12] 個々の学生に対応した履修相談や学習相談 (35 頁)	⑲ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	⑲イ	Ⅳ			
合計					6 7
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3. 5

(特筆すべき点)

・計画番号 ⑦イ

令和元年度に実施した他大学の調査結果を受け、「FD研修」についてはハイブリッド型授業の研修を行うことや、「学生アンケート」の内容見直しを決定した。

また、令和2年度より全学的に導入した「学習管理システム (Moodle)」を継続して活用することも確認した。

・計画番号 ⑦ウ

教員の教育能力向上、教育の質の改善・向上のための取組として研修会（意見交換会及び担当者会議を含む）を6回行った。

・計画番号 ⑪イ

宮崎県内就職希望者と県内企業との接点を増やすため、セミナー等を開催した。

令和2年度の新規事業として、オンラインで「教えて！○○センパイ」を実施した。また、4年生を対象とした「学内会社・自治体説明会」の参加者からは、1名の就職が決定した。

- ・計画番号 ⑫ア

令和2年4月に、他機関においてインターンシップ関連業務の経験を有する講師1名を配置した。令和2年度は積極的に宮崎県内外の企業・地域との協働を行うことが難しい状況となったが、コロナウイルスの感染予防対策を図りながら、学生に向けたインターンシップ支援を実施した。

- ・計画番号 ⑬イ

「授業料減免及び給付型奨学金」について、学生向けの説明会や決定通知書の交付、入学料及び授業料減免額の通知など事務処理を適切に行った。

その他、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた学生に対し、奨学金や給付金等の情報を積極的にアナウンスし、国や日本学生支援機構の制度を活用して、経済的支援を適切に実施した。

- ・計画番号 ⑭ア

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一堂に会しての履修相談に代えて、学務課窓口での個別の履修相談に対応したほか、履修登録変更について、従来の紙媒体ではなく、メールでの受付を行うなどの対応の結果、約200件の変更を受理した。

- ・計画番号 ⑮イ

遠隔授業の導入に伴い寄せられた相談等に対応するため、特に質問の多かった内容に関するQ&Aや、テレビ会議システム（Zoom）及び学習管理システム（Moodle）の操作説明動画を作成し、学生向けポータルサイトにて公表した結果、遠隔授業についても順調な運営を行うことができた。

(遅れている点)

- ・計画番号 ④イ

令和2年度は、2件以上の具体的な取組を決定する予定であったが、キャリア関連科目として「生命保険概論」の1件しか決定できなかった。

(その他留意点)

- ・計画番号 ④ア

地域貢献コーディネーターの機能を発揮するうえでは、大学が企業や地域社会に何を求めるかを明確にすることが前提となることから、既に作成した教務部会案を適宜見直すなど、情勢の変化に応じた柔軟な対応について工夫されたい。

- ・計画番号 ⑩ア

高校毎の推薦枠の撤廃については、その影響を十分に検証されたい。

- ・計画番号 ⑭ア

学生のニーズ調査・把握に際しては、教員不足や小学校における外国語教育の教科化等の社会情勢の変化を念頭に置いた取組が実施されることを期待したい。

(2) 研究に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[13]各種助成事業を活用した研究活動の活性化 (37 頁)	⑳ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[14]研究の質の向上と研究環境の整備 (38 頁)	㉑ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉑イ	Ⅲ			
[15]研究成果の地域社会への還元 (39 頁)	㉒ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
[15]研究成果の地域社会への還元 (39 頁)	㉓ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					12
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

- ・計画番号 ㉒ア

年度当初、教員連絡会において学長から教員に対して情報提供依頼を行い、研究成果の情報収集及び学内外での積極的な発信を行った（令和2年度実績：71件）。

なお、これらの研究業績のうち、出版等及び学会発表等の実績については、宮崎公立大学ウェブサイト内の各教員のページにて公表を行った。

(遅れている点)

- ・特になし

(その他留意点)

- ・特になし

(3) 地域貢献に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[16] 地域貢献に関する基本方針の見直し (40 頁) ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[17] 地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開 (41 頁)	⑭ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	⑭イ	Ⅲ			
[18] ニーズに即した生涯学習事業の推進 (42 頁)	⑮ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	⑮イ	Ⅲ			
[19] 地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進 (43 頁)	⑯ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					10
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.3

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(その他留意点)

- ・計画番号 ⑭ア

大学の地域貢献活動リストをホームページ等で広く周知したうえで、地域のシンクタンクとして政策課題や産業界のニーズの解決に資する研究・教育活動を積極的に展開されることを検討されたい。

- ・計画番号⑭イ

状況に応じたフレキシブルな対応が取れるよう、実施可能な連携先を複数視野に入れての取組を検討されたい。

- ・計画番号 ⑯ア

宮崎公立大学の専門性の高い語学だけにとどまらず、地域住民・地方自治体・企業等のニーズに基づくビジネス講座（例えば I T、E - c o m m e r s e、国際商取引等）などの実施についても検討されたい。

(4) 国際化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[20]国際交流に関する基本方針の見直し(44頁) ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[21]新たな海外協定校の開拓(45頁)	㉗ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉗イ	Ⅲ			
[22]留学生の受入れプログラムの充実(46頁)	㉘ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[23]地域社会における国際交流活動の推進(47頁)	㉙ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉙イ	Ⅲ			
[24]市内の小・中学校等の教育機関と連携した教育研究活動(48頁)	㉚ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					12
項目別の評点平均値(合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(その他留意点)

- ・特になし

(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[25]適切な意思決定と組織及び業務運営の改善 (49 頁)	㉑ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉑イ	Ⅲ			
	㉑ウ	Ⅲ			
	㉑エ	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施 (50 頁)	㉒ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	㉒イ	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施 (51 頁)	㉓ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施 (51 頁)	㉔ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	㉔イ	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施 (51 頁)	㉕ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
[27]教職員の能力及び資質向上への取組 (52 頁)	㉖ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉖イ	Ⅲ			
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施 (54 頁)	㉗ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉗イ	Ⅲ			
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施 (55 頁)	㉘ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[29]ハラスメント防止・対策の徹底 (56 頁)	㉙ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉙イ	Ⅲ			
	㉙ウ	Ⅲ			
[30]災害等の有事における危機管理への対応 (58 頁)	㉚ア	Ⅱ	Ⅱ	D 3	2
	㉚イ	Ⅱ			
	㉚ウ	—			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応 (59 頁)	㉛ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉛イ	Ⅲ			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応 (60 頁)	㉜ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	㉜イ	Ⅲ			
合計					3 9
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3. 3

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・計画番号 ④⑩ア

例年実施する、防火管理者による非常口、避難はしご及び避難経路等の点検は通常通り実施したが、新型コロナウイルスの影響により、避難訓練（総合訓練）は実施できず、次年度に延期した。

- ・計画番号 ④⑩イ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための機械等の設置や、感染防止対策等の学生及び教職員への注意喚起、感染症が学内で発生した際の対応フロー図の作成等を実施したが、新型コロナウイルス感染症を踏まえた防災マニュアルの見直しには至らなかった。

(その他留意点)

- ・計画番号 ④⑩イ

危機管理上の重要な計画であるBCPについては、最新の事例に対応できるよう、適宜必要な見直しや学内での周知を実施されたい。

(その他)

- ・計画番号 ④⑩ウ

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受講を予定していた救命講習会が中止となったことから、評価を実施しない。

(6) 財務内容の改善に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[32]経費の削減及び効果的な予算編成 (61 頁)	④3ア	III	III	D 3	3
	④3イ	III			
	④3ウ	III			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保 (62 頁)	④4ア	III	III	D 3	3
	④4イ	III			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保 (63 頁)	④5ア	III	III	D 3	3
	④5イ	III			
	④5ウ	III			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保 (64 頁)	④6ア	II	II	D 3	2
	④6イ	II			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保 (64 頁)	④7ア	III	III	D 3	3
	④7イ	III			
[34]産学官等との連携による寄附講座の開設 (65 頁)	④8ア	IV	IV	D 3	3
[35]研究活動における外部資金の獲得 (66 頁)	④9ア	II	III	D 3	3
	④9イ	III			
[36]長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用 (67 頁)	⑤0ア	III	III	D 3	3
	⑤0イ	III			
	⑤0ウ	III			
[37]計画的な情報システムの整備と有効活用 (69 頁)	51ア	III	III	D 3	3
	51イ	III			
	51ウ	III			
合計					26
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					2.9

(特筆すべき点)

- ・年度計画番号 ④8ア

「一般財団法人こゆ地域づくり推進機構」や「日本労働組合総連合会宮崎県連合会(連合宮崎)」の寄附講座を実施したほか、令和3年度実施分として、「街市実行委員会」や「一般社団法人生命保険協会」の寄附講座を行うことが決定した。

(遅れている点)

・計画番号 ④⑥ア

県内高校の学校推薦型選抜Ⅰの志願者数の変化について、入学試験部会で共有したが、分析、検証には至らなかった。

・計画番号 ④⑥イ

学校推薦型選抜Ⅱの志願者数の変化について入学試験部会で共有し、志願状況について分析を行ったが、分析結果には至らなかった。

・計画番号 ④⑨ア

研究活動における外部資金の獲得に向けて、年度計画の実施事項では科学研究費の応募を年6件以上行うこととしていたが、令和2年度の実績は4件に留まった。

(その他留意点)

・計画番号 ④③ウ

中期計画において、管理業務に係る経費の削減は、事務処理の簡素化・合理化を通して行われるとされていることを踏まえ、令和元年度の実績報告書のように、事務処理の簡素化・合理化に係る具体的な取組を記載されたい。

・計画番号 ④④ア

高校教員向けの入試説明会や高校側との日頃からの意思疎通は重要である。高校教員は多くの大学の入試動向に敏感であることから、高校教員との情報共有を通じて、推薦枠の取扱いを含め、宮崎公立大学の入学試験の在り方について今後とも検証されたい。

・計画番号 ④⑤ア

進学ガイダンスでは、県内外の他大学と競合するので、内容はもとより、学生の心を掴む努力が必要である。宮崎の暮らしや充実したキャンパスライフなどを学生目線でアピールするなど、より一層の工夫をされたい。

・計画番号 ④⑨ア

科学研究費については、年度計画の達成には至らなかったが、令和3年度開始時点での採択件数は13件（全専任教員のうち39.4%）と高い水準であることから、中期計画に定める応募件数の達成に努めながら、引き続き、採択件数の確保にも努められたい。

(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動（70頁）	52ア	Ⅲ	Ⅲ	D3	3
	52イ	Ⅲ			
[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動（70頁）	53ア	Ⅲ	Ⅲ	D3	3
	53イ	Ⅲ			
[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた広報活動の展開（71頁）	54ア	Ⅲ	Ⅲ	D3	3
[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた広報活動の展開（71頁）	55ア	Ⅲ	Ⅲ	D3	3
	55イ	Ⅲ			
	55ウ	Ⅲ			
	55エ	Ⅲ			
合計					12
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(その他留意点)

- ・特になし

(8) 大学改革に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度	評点
		取組毎	全体		
[40]時代の変化に対応した教育改革 (73 頁)	56 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	56 イ	Ⅲ			
	56 ウ	Ⅲ			
合計					3
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(その他留意点)

- ・特になし